

平成29年度山都町包括医療センターそよう病院決算の点検・評価について公表します。

平成29年度の病院事業は、入院については患者数の大幅増加と一人当たりの単価も増えたため収入増となりました。外来患者数は減少しましたが、患者単価は増となり、併せて黒字要因となりました。

入院収入は、入院患者数が延べ患者数において1,323名（対前年度比8.36%増）増えたことと、患者一人当たり単価も1,749円の増となり、前年度比62,897千円増の456,400千円（対前年度比15.98%増）の収入となりました。外来においては、医科・歯科合わせて患者数が1,015名（対前年度比2.38%減）減となりましたが、一人当たりの単価が上がったこともあり27,030千円増の382,627千円（対前年度比7.60%増）の収入となりました。

支出では、前年度より経費が129,795千円と6,214千円増、給与費が583,600千円と3,545千円の減、減価償却費が77,581千円と6,164千円の減、医業外費用が53,877千円と3,140千円の減でした。

医業収益は927,500千円（対前年比10.29%増）、医業費用910,495千円（対前年度比0.37%減）、総収益1,077,469千円（対前年度比8.63%増）、総費用966,006千円（対前年度比0.73%減）となり、差引き111,463千円の黒字決算となりました。

今後も、へき地医療拠点病院及び二次医療施設として良質な医療を提供していくと共に、健全経営の維持に向け努力します。

1. 収支状況

	平成28年度			平成29年度			点 検	評 価	
	目標値	実績	達成率	目標値	実績	達成率			
経常収支比率	101.8%	101.7%	99.9%	103.0%	111.5%	108.3%	（経常収益／経常費用） ×100  病院が安定した経営を行うための指標であり、総収益と総費用との割合で事業活動の能力を表す指標。	この比率は100%以上であることが望ましく、平成29年度の達成率は108.3%で目標を8.5%上回っている。	平成29年度は入院患者数の大幅増加と一人当たりの単価も増えたため111,110千円の黒字計上となっている。
医業収支比率	92.0%	92.0%	100.0%	92.3%	101.9%	110.4%	（医業収益／医業費用） ×100  医業費用が医業収益によってどの程度賄われているかを示す指標であり、医業活動の能力を表す指標。	この指標は経常収支比率同様100%以上であることが望ましく、平成29年度は9.6%目標値を上回っている。	黒字決算ではあったが、地域的に来院患者における初診患者の割合が少なく、近年の高齢化の進行に伴い慢性疾患の受診患者が主であることから保存的な加療となっている。そのため、外来患者1人1日当たりの収益が類似病院の平均より下回っている。 類似病院: 8,407円 本 院: 8,164円
病床利用率	76.0%	76.0%	100.0%	77.2%	82.4%	106.7%	（年延入院患者数／年延病床数） ×100  病院の施設が有効に活用されているかどうかを判断する指標。	この指標は高い方が望ましく、平成29年度の達成率は106.7%と目標を5.2%上回っている。	
職員給与費比率	69.8%	69.8%	100.0%	69.6%	62.9%	90.4%	（職員給与費／医業収益） ×100  病院において職員給与費は最も大きなウェイトを占める医業費用であり、医業収益と人件費の割合で職員数が適正かを判断する指標	この指標は低い方が望ましく、平成29年度の達成率は医業収入が多かったことにより6.7%下回り、前年度対比では6.9%ダウン。	
職員数	66人	66人	0人	66人	67人	1人			